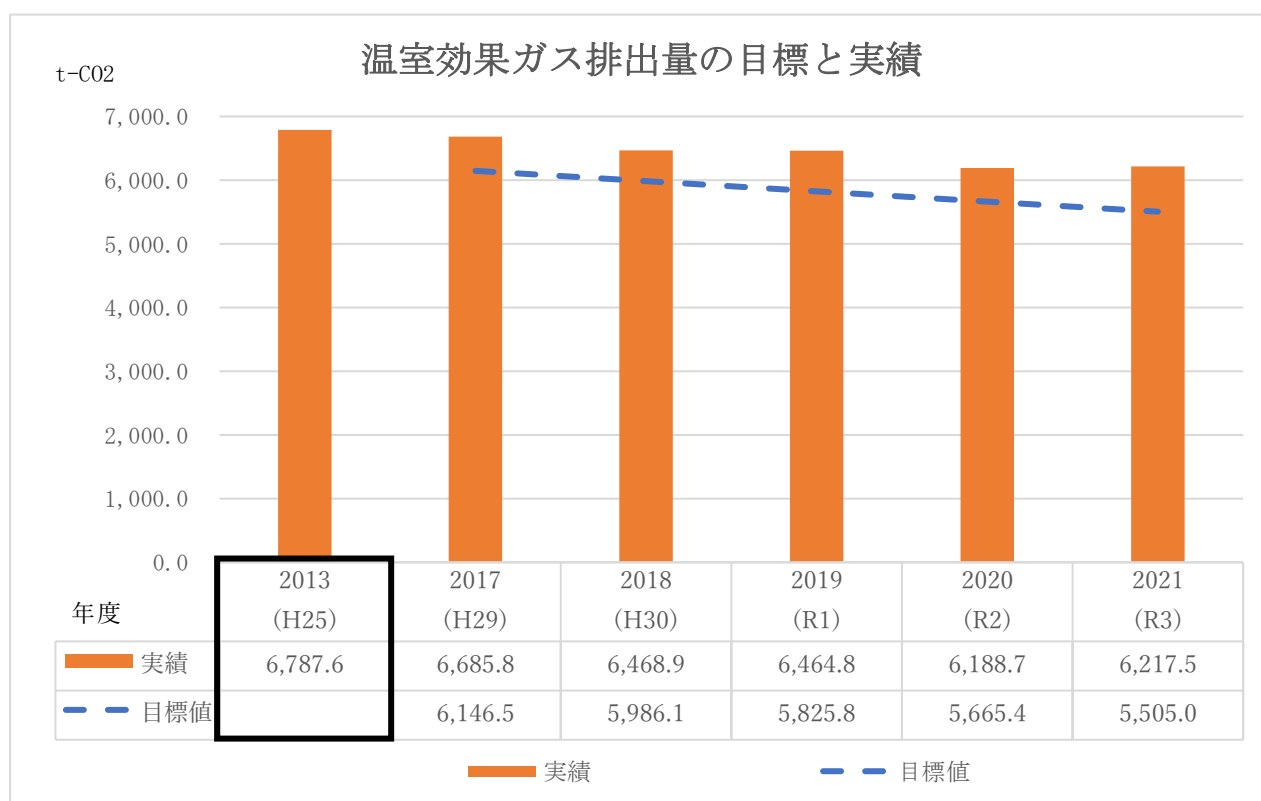


「2021 年度（令和 3 年度）地球温暖化対策実行計画の実績報告」

2017 年度（平成 29 年度）から 2021 年度（令和 3 年度）までの前地球温暖化対策実行計画では、市の事務事業により排出される温室効果ガス排出量を 2030 年度（令和 12 年度）までに 2013（平成 25 年度）年度比で約 40%削減することを目指していました。

この前計画では、最終年度である 2021 年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出量を 5,505t/CO₂ 以下（約 19%削減）にすることとなっています。

2021 年度（令和 3 年度）の実績については、全施設で節電に取り組んできたところですが、実績としては、6,217.5 t/CO₂ でした。前計画の 5 年間で比較すると約 7.1%の減少、基準年（平成 25 年度）と 2021 年度（令和 3 年度）の比較すると、約 8.3%の減少となっていますが、目標値には達していない状況です。

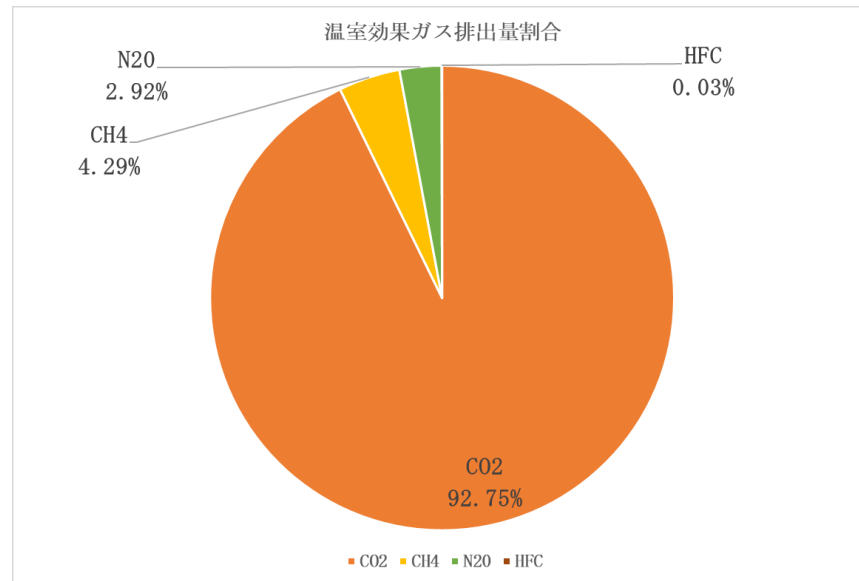


※新規施設

みらい平コミュニティセンター（平成 26 年 11 月）

陽光台小学校（平成 27 年 4 月）

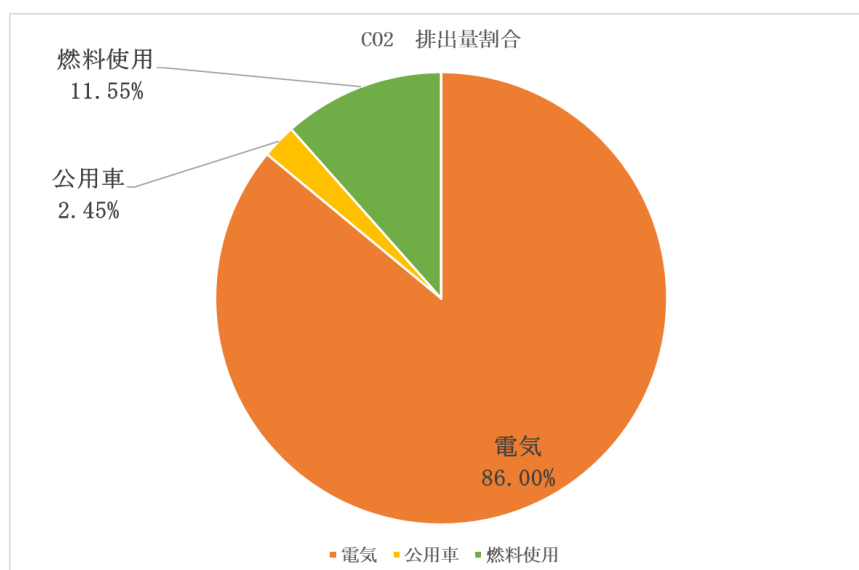
富士見ヶ丘小学校（平成 30 年 4 月）



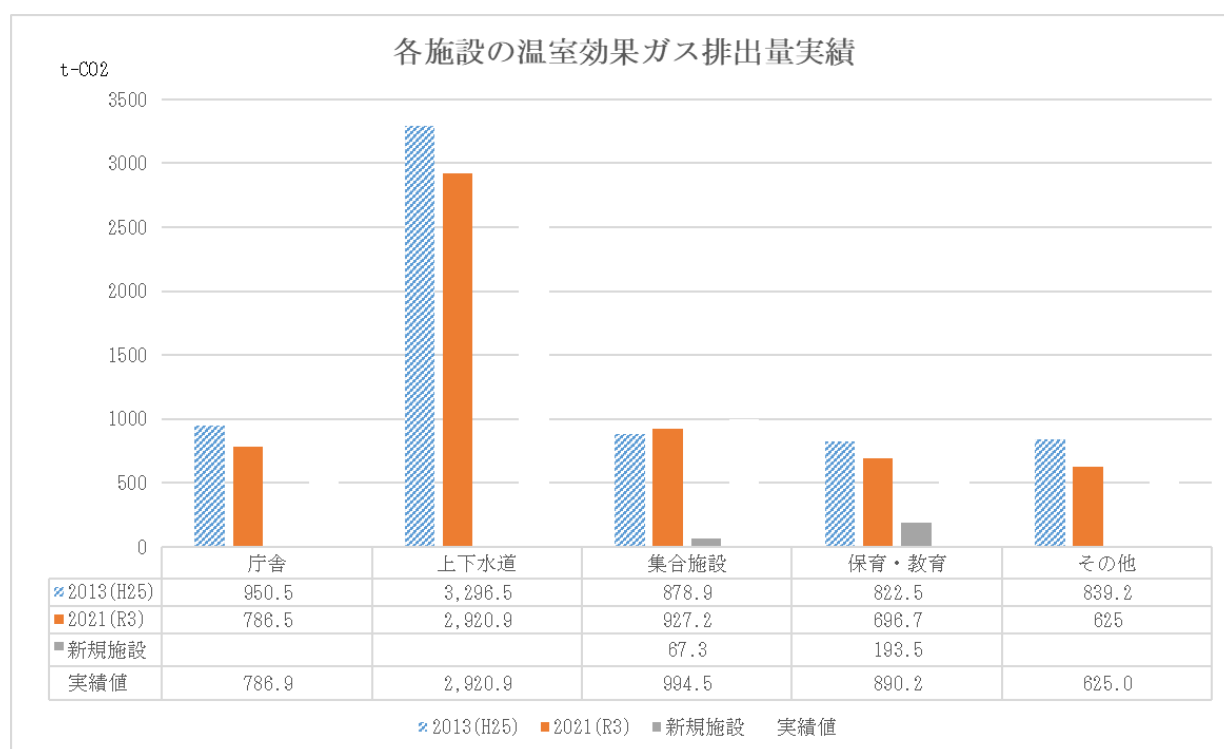
温室効果ガス排出量の割合と種類

○温室効果ガスの種類ごとの割合は二酸化炭素（CO2）約 93%、メタン（CH4）約 4%、一酸化二窒素約 3%、ハイドロフルオロカーボン（HFC） 1 %未満となった。

- ・「二酸化炭素（CO2）」は、電力の使用や暖房用灯油、自動車用ガソリン等の使用により排出される。
- ・「メタン（CH4）」は、自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の焼却等により排出される。
- ・「一酸化二窒素（N2O）」は、自動車の走行や燃料の燃焼、一般廃棄物の燃焼等により排出される。
- ・「ハイドロフルオロカーボン（HFC）」は、カーエアコンの使用・廃棄時等に排出される量として自動車の保有台数より換算する。



温室効果ガス排出量の大部分を占める電気使用量に関して、「上下水道」については、ライフラインを維持するために必要不可欠であり、人口が増加する中でも、取水井戸のインバータ化などの省エネルギー設備の導入により、使用量が減少しています。「庁舎」については、H27 年度に伊奈庁舎を建て替えたことで、太陽光発電設備や、省エネルギー設備の導入したことに加えて、昼休みに照明を消灯する活動やグリーンカーテンによる空調器具の節電等を実施し使用量が減少しています。「集合施設」は、H26 年度にみらい平コミュニティセンターが開設したことや、図書館で開館時間を 1 時間延長したことにより使用量が増加しています。「保育・教育」については、H26 年度に市内全小中校でエアコンを設置したこと、H27 年度に陽光台小学校、H30 年度に富士見ヶ丘小学校が開校したこと、R3 年度に富士見ヶ丘小学校プレハブ校舎を増設したことに加えて、コロナウィルス感染防止対策のため、換気をしながらエアコンを運転したことなどにより、使用量が増加しています。「その他」の施設については、きらくやまふれあいの丘や総合運動公園等において、コロナ禍の影響により、例年と比較して休館日の増加や開館時間の短縮があったことなどが減少した要因と考えられます。



各施設の主な内訳

- ・庁舎＝伊奈庁舎、谷和原庁舎、教育委員会庁舎、防災課防犯灯等
- ・上下水＝上下水道課管理施設（谷和原浄水場、久保浄水場、小絹水処理センター等）
- ・集合施設＝コミュニティセンター、保健センター、図書館等
- ・保育・教育＝保育園、幼稚園、小学校、中学校等
- ・その他＝きらくやまふれあいの丘、スポーツ施設等（総合運動公園等）

「今後の取組」

温室効果ガス排出量の大部分は、電気の使用による二酸化炭素排出量であり、2021 年度（令和 3 年度）では全体の約 86%以上を占めており、電気使用量の中でも上下水道の施設が 46%占めているが、生活に直結しているため施設や設備の更新以外での節電が難しい状況です。

今年度は、運動公園施設と谷和原庁舎の照明を LED に交換し、省エネルギー化を実施します。

また、2023 年度（令和 5 年度）には、国の補助金を活用し、再生可能エネルギー導入のための調査を予定しています。

その結果を基に、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備導入を検討していくとともに、各施設の照明や防犯灯の LED 化を進めていくことや、公用車の次世代エコカー導入などを進めていきます。

今後も目標の達成のため、地球温暖化対策実行計画に掲げている温室効果ガス削減の取組について、全施設で取り組んでいきます。